

電気さく資材の基本的な選び方

1. 必要な資材を選ぶために、以下の設置条件をまず確認しましょう。

●電気さくを設置する長さを測る

※1反の周囲の長さ=約125m



●対象動物の確認

対象動物	おすすめの張り方
イノシシ	2段張り
タヌキ	3段張り
シカ	5段張り

動物によって電気さくの張り方が変わります。詳しくは、対象物別資材のページを参照ください。



2. 設置条件を元にした必要資材の割り出し方

●さく線(電線)の長さ算出方法

$$\begin{array}{c} \text{設置する場所の長さ} \\ \text{A} \end{array} \text{ m} \times \begin{array}{c} \text{電気さくの段数} \\ \text{B} \end{array} \text{ 段} = \begin{array}{c} \text{総電線長} \\ \text{(必要なさく線の長さ)} \\ \text{C} \end{array} \text{ m}$$

●支柱の必要数の出し方

$$\begin{array}{c} \text{設置する場所の長さ} \\ \text{A} \end{array} \text{ m} \div \begin{array}{c} \text{支柱の間隔} \\ \text{D} \end{array} \text{ m} = \begin{array}{c} \text{支柱の必要数} \\ \text{E} \end{array} \text{ 本}$$

支柱の間隔は、以下を参考にしてください。

- ・平坦(圃場整備されている)…約4m
- ・平坦(圃場整備されていない)…約3m
- ・棚田や斜面…約2.5m

例) 500m ÷ 2.5m = 200本

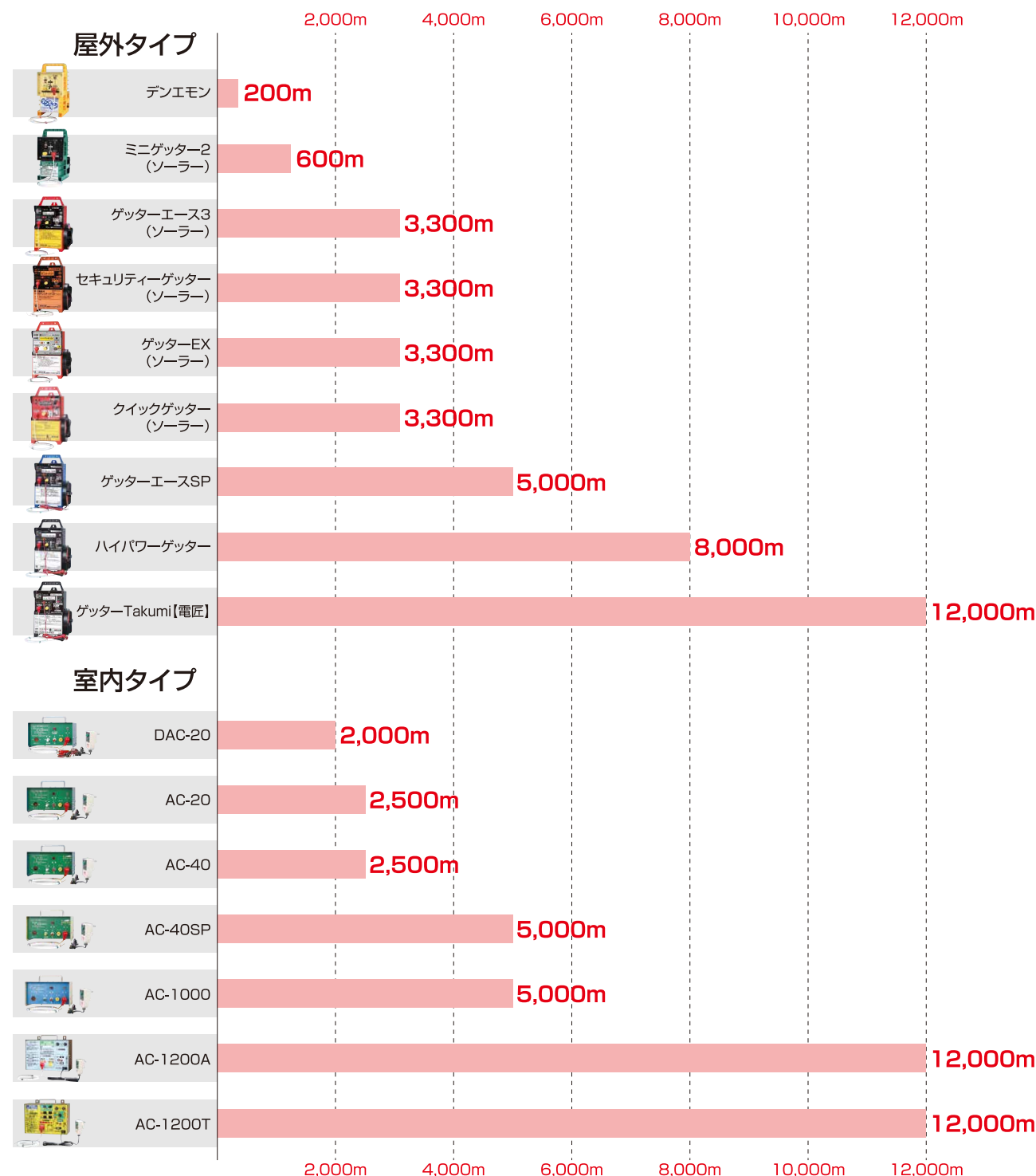
●ガイシ・フックの必要数の出し方

$$\begin{array}{c} \text{支柱の本数} \\ \text{E} \end{array} \text{ 本} \times \begin{array}{c} \text{電気さくの段数} \\ \text{B} \end{array} \text{ 段} = \begin{array}{c} \text{必要数} \\ \text{F} \end{array} \text{ 個}$$

3. 本器(電気さく用電源装置)の選び方のポイント

●総電線長を超える最大電線長の出力がある機種を選ぶ

例) 総電線長3,000m → 最大電線長3,300mのGetter-エース3



※出力電圧は、使用環境により異なりますのでテスターでご確認ください。